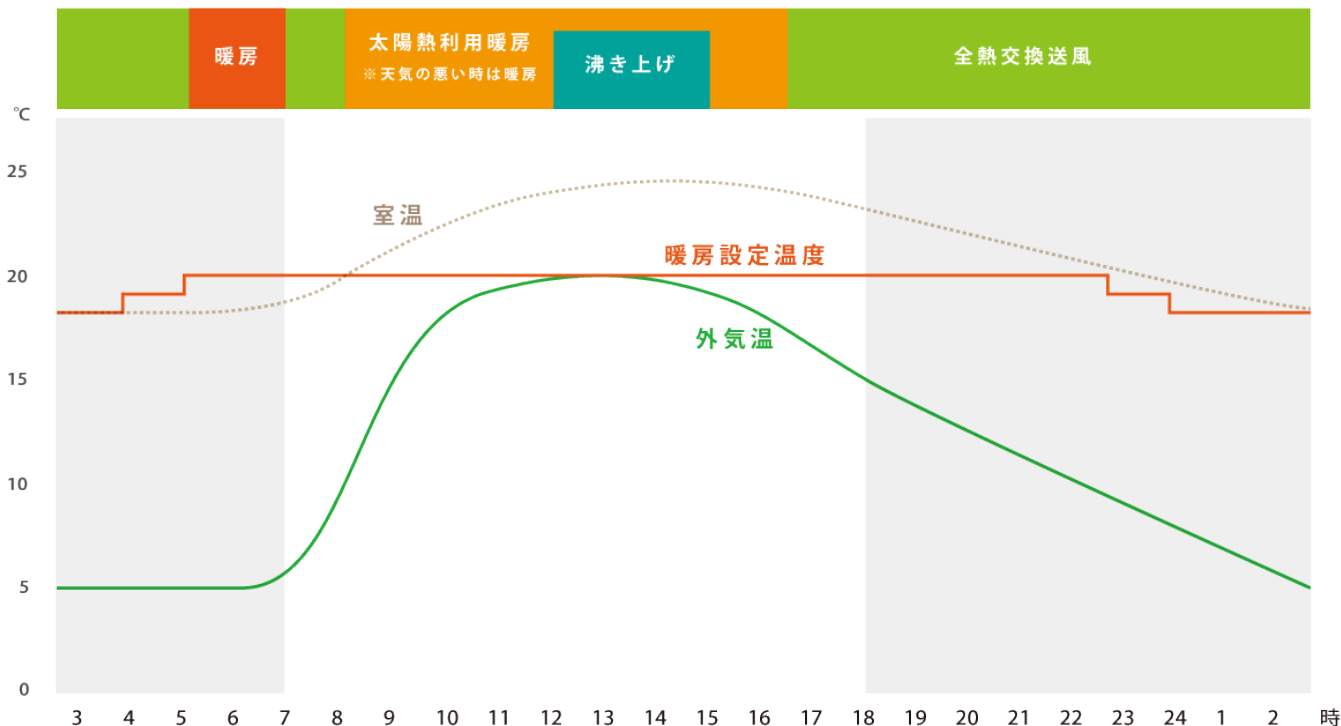
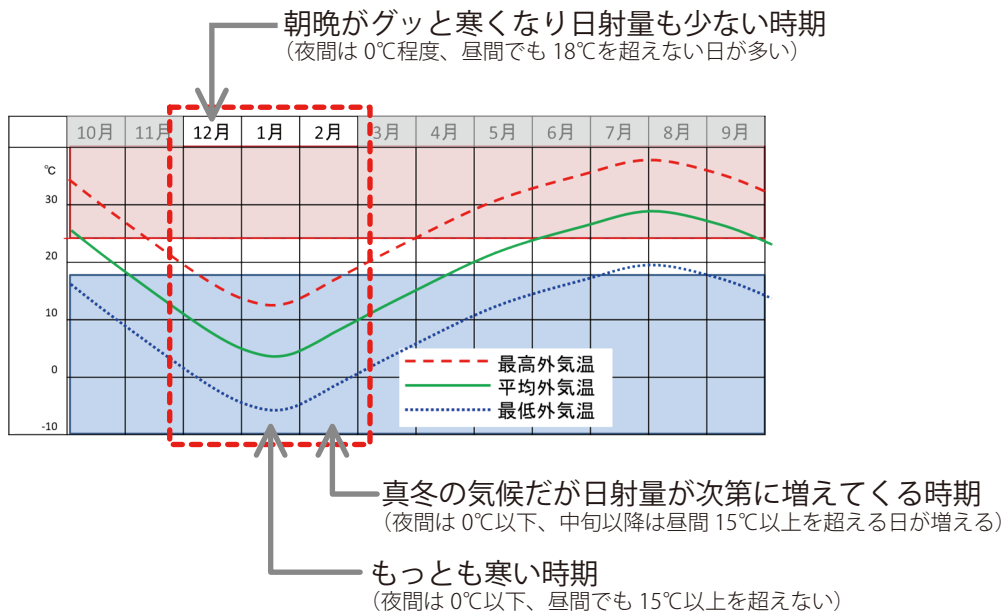


季節ごとの上手な使い方／冬（12月～2月頃）



暖房利用量が増える季節

秋から「おまかせ運転」で床や壁が一定温度に温められているから家の中は 20℃でも快適、さらに日中は「太陽熱暖房」にシフトして省エネ運転をします。少し寒く感じるときは、衣類を一枚羽織ったりすることも快適＆省エネのコツです。



主な運転モード

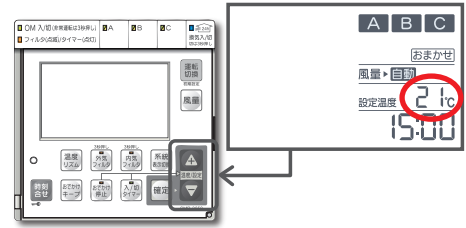
「おまかせ運転」

- ・ 昼間は「太陽熱暖房」と「ヒートポンプ暖房」、室温が 20℃を超えると「太陽熱暖房」のみにシフト。正午以降は「太陽熱暖房」しながら、太陽光発電の一部を使ってヒートポンプでお湯を沸き上げ。
- ・ 就寝する時間帯に合わせて設定温度を下げて運転します。



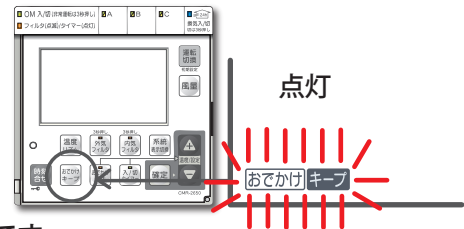
こんな時は・・・

- 「おまかせ運転」だと寒い
「暖房運転」(12月～2月頃)
 - ・「暖房運転」に切换え、お好みの設定温度で運転してください。
 - ※ A、B、C系統全ての吹出口を使い、設定温度を21℃～23℃位にして「暖房運転」をしてください。



- 💡 天気がいい昼間は直射日光を取り込むと、部屋を温めるのに効果的です。
- 💡 就寝する時間に合わせて設定温度を下げる運転をするため、就寝前(24時以降)は「おまかせ運転」に戻した方が省エネです。

- ちょっと外出したい
「おでかけキープ運転」
 - ・設定温度が15℃になります。
 - ・1～2時間程度のおでかけなら「おでかけキープ運転」は不要です。



- 💡 暖房を控えめにキープするから外出から戻ったときも快適です。
- 💡 暖房を控えめにキープするからペットを残していても安心です。
- 💡 しばらく留守にするときは「おでかけ停止運転」をおすすめします。
半日～2日程度の場合は「おでかけキープ運転」の方がエネルギーの消費をおさえ省エネです。

注意!!

冬でも快適・省エネのために「おまかせ運転」をおすすめします。暖房設定で30℃などに設定しても、早く温まりません。大きな電力消費の原因になります。